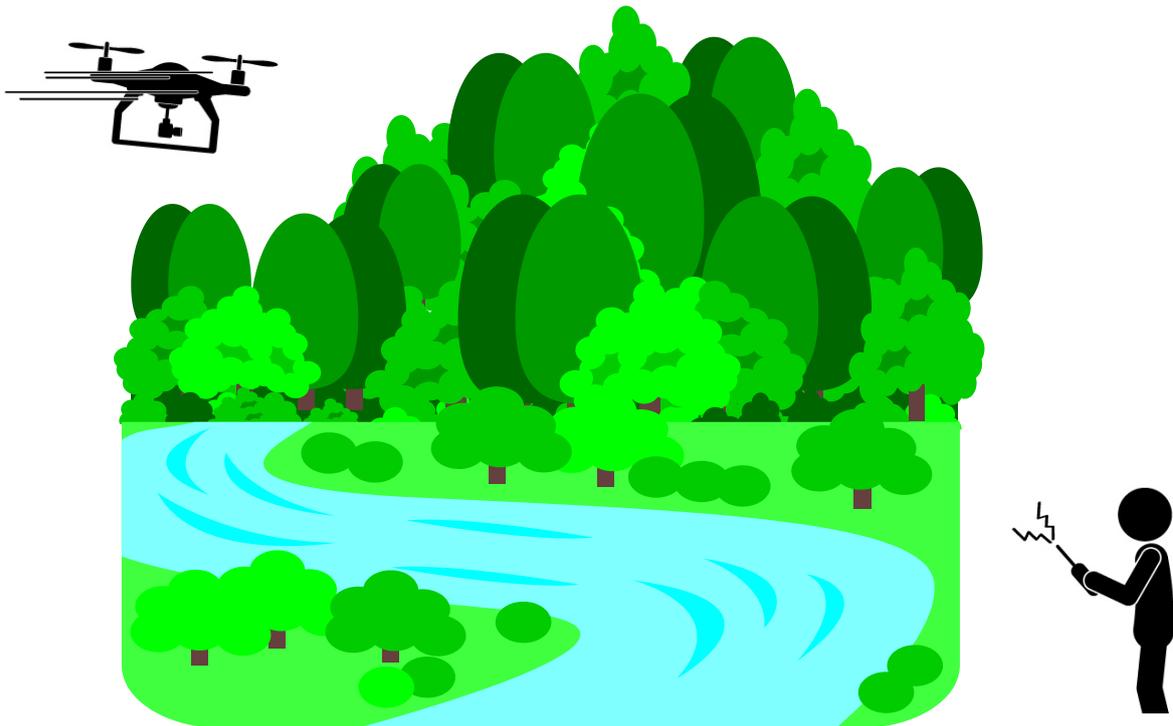


ドローンを用いた空撮

ドローン撮影のメリット

近年ドローンによる空撮が普及し様々な用途で利用されるようになってきました。ドローンを使用することで広範囲を短時間で撮影できたり、人や車が入って行けない場所を撮影できたりするメリットがあります。また、飛行プログラムを併用することで、送信者から離れた場所における自動飛行や自動撮影も可能です。

弊社では各種調査に応じたドローン撮影をご提案させていただきます。



弊社所有機種と仕様の概要	重量	905 g
 MAVIC 2 ZOOM(DJI社製)	静止画	12メガピクセル
	動画	4 KまたはフルHD
	ズーム倍率	光学2倍
	運用最大高度	6,000m
	最大伝送距離	5,000m
	最大飛行時間	31分 (定速25km/h、無風の場合)
	障害物検知システム	全方向障害物検知

調査費用や調査実施までの流れなど、ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

地域の環境 確かな技術で分析・調査



〒959-0232 新潟県燕市吉田東栄町 8 番 11 号

TEL:0256-78-7611 FAX:0256-78-7622

<http://www.nss-lab.co.jp>

担当:阿部

撮影と利用の一例

【不法投棄の監視】
短時間で広い範囲の監視が容易になります。また、住民に周知することで抑止効果が期待できます。

【河川形状の把握】
瀬や淵の分布、滞筋の位置など、河川形状の把握が容易になります。

【サケなど大型魚類の遡上状況把握】
遡上個体の確認や産卵床の有無など、車や人が近づくことが難しい場所でも確認することが出来ます。

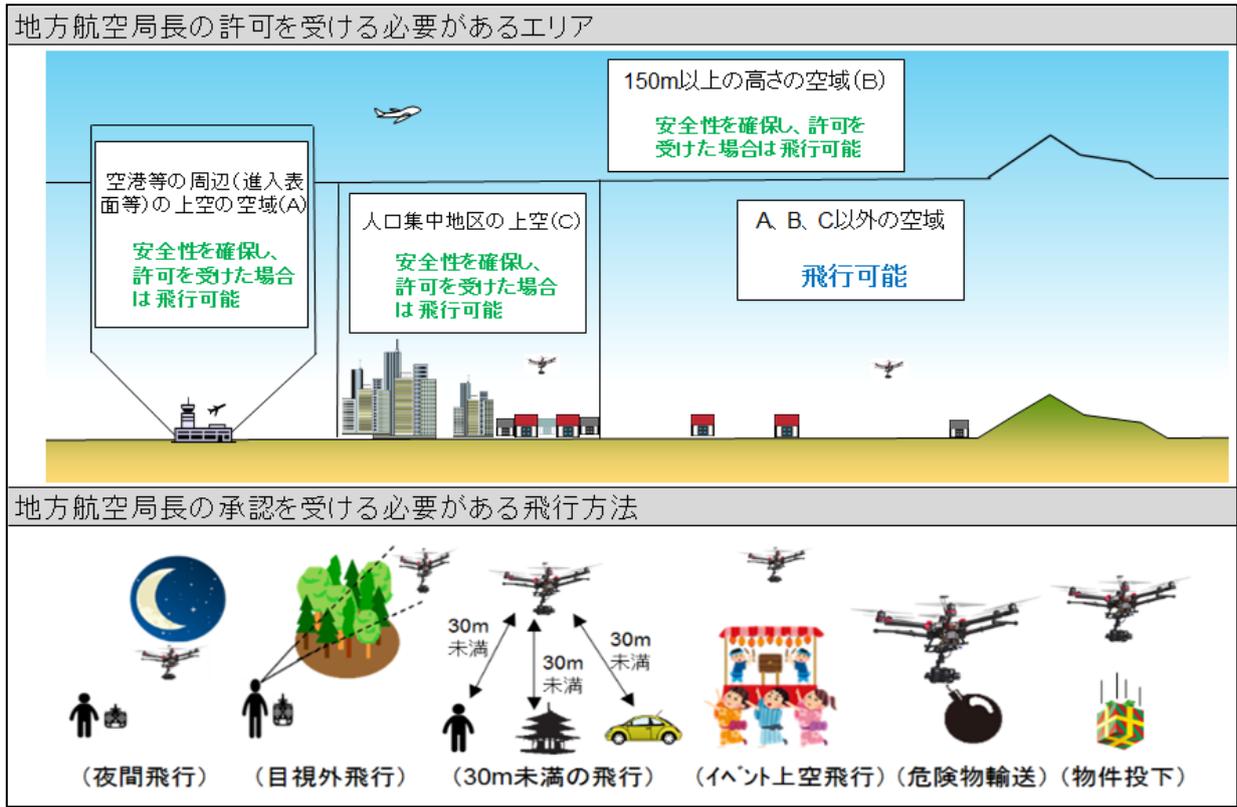
【植生群落の把握】
植生群落調査のための事前確認や現地調査の補完に役立ちます。

【濁水の流下状況の把握】
濁水の流入など、異常があった際にはその原因の特定に役立ちます。

国土地理院地図から引用

飛行規制など

飛行区域や飛行方法には以下の規制があり、地方航空局長から許可や承認を受ける必要があります。それらの申請方法についてもご相談下さい。また、当社ではドローンの飛行に必要な知識や技能講習を受けたオペレーターが操縦にあたります。



国土交通省HP「無人航空機（ドローン・ラジコン機等）の飛行ルール」から引用